

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数以外にも売上点数が増えており、客の様子からも、景気は良い。
		観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・地域で大きなイベントを開催しており、訪れる宿泊客が増えている。商店街も普段と違い、観光客が大勢歩いているのを見かける。商店や飲食店主からも、来客数が増加していると聞いている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・この地区は人口が18,000人弱に対して、コンビニがまた新しくオープンし、8軒と非常に激戦である。そうしたなかで、前年に比べて売上は落ちているものの、数か月前に比べればやや良いという状況である。天候も今一つで、暑くはないが、清涼飲料水、アイスクリームその他で、やや上向くのではないが。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・以前に比べて、商談数が増えてきている。
		自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き	・新車販売が前年を上回り、関連商品も同様の動きとなってきた。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・6月に入り、1日の売上目標に近い状態が続いている。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・前年6月の売上はかなり不調だったが、今年は各種業界団体の会合などが増え、例年並みに業績が回復している。3か月前の状況は例年よりやや悪かったため、やや良くなっている。
		都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・例年落ち込みがみられる6月であるが、今年は前月の勢いそのままに、好調に推移している。インターネットを中心とした個人予約の好調によるところが大きい。
		旅行代理店（所長）	来客数の動き	・当地域の名刹の大修理完了の影響が大きく、週末はもちろん、平日の来訪者も増えている。また、その波及効果が隣接地域も含めて、観光施設に効果をもたらしてきている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・例年はボーナス商戦で動きはあるものの、今年は特別な動きはない。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・比較的天候に恵まれたことやインパウンドの団体客や個人客も増加しているため、やや良くなっている。
		ゴルフ場（総務担当）	来客数の動き	・中旬ごろから来場者の予約が増加傾向になってきている。また、求人活動をしていたが、ここへきてようやく人材不足が解消されている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・今月下旬から単価の低いカットの客が、じわじわと増えている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・男性客の出足は相変わらず鈍いが、女性客の来店数、頻度共に増えてきている。それにつれて店頭販売の化粧品も上向きつつある。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・葬儀の依頼は前月よりは少なかったものの、相談は多い。
		設計事務所（経営者）	販売量の動き	・この数か月、仕事の納期が重なり人手不足である。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・例年に比べて好天が続いているものの、人出は今一つである。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月は前月に続き、暑い日が続いている。空梅雨と言われており、高齢者の多い街なので、外出回数は少なくなってきた。暖かくなれば、客の動きが良くなると思っていたが、急激な暑さの連続で、対応できない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・品物の動きが少なく、静かな状況が続いている。目先を変えた記念品等で展示会を開催しても、来場率は上がるが売上増には結び付かない。客は必要のない物に出費はしない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・客は皆、購入する際に、値段ばかり気にしている。動きも鈍い。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・お中元ギフト商戦の出足は非常に厳しく、買上客数、客単価共に前年を大きく下回っている。その一方で、長期にわたり不振であった婦人衣料が、今月に入り前年実績を確保できており、店全体としては、ほぼ前年並みとなっている。	

百貨店（営業担当）	販売量の動き	・お中元ギフトがかなり悪化している。そもそもの客数はもちろんのこと、1人当たりの点数も少ない。また、紳士、子供などの衣料品は継続して不振だが、婦人衣料はやや持ち直してきており、トータルでは3か月前と変わらない。
百貨店（営業担当）	単価の動き	・1人当たりの買上単価が下がっている。複数買いが減り、単品買いが増えているので、客単価が上がらない。
百貨店（副店長）	お客様の様子	・婦人服に続き今月は紳士服もようやく回復傾向となり、売上は前年を超えている。勝負はクリアランスだが、何しろメーカーが商品を作っていないので、どこまで魅力的な商品を十分に集められるかが勝負の分かれ目で、店の実力が試される場所である。ただ、最近気になる傾向は、ポイントアップやカード優待などの組織顧客向けのキャンペーン効果が出にくくなっていることである。理由がはっきりしないが、いまやお得かどうかだけでは客が反応しなくなっているのかもしれない。
スーパー（総務担当）	来客数の動き	・前月同様、来客数、売上共に、前年比9掛けの状況である。衣料品、住居用品、食料品も同じ状況が続いている。ただし、客単価だけは前年よりも上がっている。買い方に変化はなく、本当に必要な物しか買わない。街角景気は上がってきていると言うものの、まだそういう状況はみえてこない。
スーパー（商品部担当）	来客数の動き	・ここ数か月、来客数の微減を客単価で補っている傾向に変化がなく、集客もイベントによる微増程度で、大きな変化がない。
コンビニ（経営者）	単価の動き	・梅雨時なので、来客数があまり見込めない。
衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・今月に限っては年金月だったため、年金が出た直後は若干人の動きがあったものの、この3か月間ずっと悪い状況が続いている。いろいろ手は尽くしているが、残念ながら客が出てこない。かなり大変な状況である。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・自動車販売は、新車、中古車共に目標を下回っている。一般整備、特に車検は、他店と基本整備料金の値引き競争で、利益を取ることが非常に厳しく、デフレ脱却どころの話ではない。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・他の地域と比べて、当地は地域間格差があまりなく、良い方なのかもしれない。しかし実際には、他の地域と変わらず客の財布のひもが固く、新車の購入までにはなかなか至らない。中古車を買うか今の車に我慢して乗るといった傾向が強くなり、売上は今一つである。
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・新車、中古車の販売量、車検、一般整備の入庫率、いずれも3か月前と同様の数字で、大して変わらず推移している。
自動車備品販売店（経営者）	競争相手の様子	・当社の販売は伸びているが、それは独自の対策を打った結果である。来客数、整備の売上などは、あまり良い動きではない。同業他社は伸びてきていない。
住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・雨は少ないものの、あまり気温も上がらないため、来客数は伸びず夏物の動きも鈍い。これといったヒット商材もなく、消費に閉塞感が漂っている。
その他専門店〔燃料〕（従業員）	販売量の動き	・販売量は減少しているが、大きな変動はなく推移している。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ここ何か月か来客数の増減がほとんどない。前年と比較して減少している月もあるし、やや増加している月もあり、大体前年度並みの動きである。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・5月まで前年同月を超えていたレストラン部門の売上が、今月になって前年以下となる見込みである。天候的には空梅雨で客足が落ちる要素はなく、有力な競争相手ができたとも思えないので、わずかな景気の減速感が出てきている。
一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・動いているように感じるが、実質の売上額は伸びていない。
スナック（経営者）	来客数の動き	・4月は少し悪かったが、5月から上向き、今月も良い。来客数、客単価共に、数年前と比べて確実に良い。焼酎のボトルも高い物がよく動くようになっている。
都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・インターネット予約、客単価共に前年並みに推移しているものの、伸びがない。

旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・来客数は、あまり変わらない。
旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・国内、海外旅行共に大きな変化はなく、受注量も変わらない。来店客も価格に対して敏感なため動きが鈍く、成約となる割合は少ない。
タクシー運転手	販売量の動き	・農家が多い田舎なので、今月は農繁期となっている。
タクシー運転手	お客様の様子	・地方で、タクシーを利用する人は大体決まっている。病院等の送迎利用や、出張等で他所から来た客の利用も、減少している。
タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼の動きが良く、前年同月と比べて5%の増収である。
通信会社（経営者）	販売量の動き	・年度初めからずっと変わらずに、売上が減少している。当社も含め、この街の弱小企業は大丈夫なのだろうか。
通信会社（経営者）	お客様の様子	・客の反応は少なく、相変わらず低調である。
ゴルフ練習場（経営者）	お客様の様子	・既存のありきたりな物ではなく、変わった商品で手軽に買い求められる物の動きが良い。
ゴルフ場（経営者）	それ以外	・降雨が少なく、コース管理面で苦慮している。また、客単価が低いコースであるが、顧客サービスのための新規導入で、コスト増が心配である。
競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購買単価共、ほとんど変化がみられない。
その他サービス [自動車整備業]（経営者）	販売量の動き	・依然として必要最小限の整備を希望する客が多く、安全のための予防整備には至らない。
その他サービス [立体駐車場]（従業員）	お客様の様子	・来客数、販売量、単価等も含めて全て横ばいである。また、客も依然として必要な物を買回だけというパターンが多いようで、変わらない。
その他サービス [イベント企画]（職員）	お客様の様子	・イベント開催時は、それなりに客は来るものの、景気の掲揚感にはつながらない。
設計事務所（所長）	競争相手の様子	・業界の集まり等でも、忙しい同業者はあまりいないようである。
住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・来客数は以前と変わらない。切羽詰まった客が少なく、ゆっくりした動きが目立つ。
住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・アパート、マンション等の空き家が増えてきて、大家さんが悲鳴を上げている。ここに来て、不動産の動きがほとんどない。賃貸関係のアパート、マンションは、年度替わりは動くものの、その後は停滞し、逆に空き家が増える状況である。店舗もあまり芳しくない。閉店するところもあり、後継者問題で跡継ぎがないため、店を閉めるという傾向にある。
商店街（代表者）	来客数の動き	・七夕の装飾も始まり、見た目にはにぎやかになってきたが、肝心の来街者はさっぱり増えず、がらんとした状態が続いている。夏本番に期待する。
商店街（代表者）	販売量の動き	・当店はスポーツ用品を扱っている。今は学校の登山、水泳用品の注文時期で、毎年ある程度の販売をしていたが、今年は本当にびっくりするほど注文が少ない。客は無駄遣いはしない。
一般小売店 [衣料]（経営者）	販売量の動き	・今月は学校関係は衣替えの時期だが、あまり良くない。
スーパー（経営者）	来客数の動き	・競合が増えて来客数が減っている。
スーパー（企画担当）	来客数の動き	・来客数が今年の3月からずっと落ちている。必要以上に物を買わなくなり、販売点数も減少している。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近隣事業所の景気悪化で、やや悪くなっている。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・公共事業の入札案件の始まりが遅かったようで、6月は来客数1日当たりマイナス20人、1日の客単価はマイナス6円で推移している。中食といわれる弁当類は103%と伸びているものの、全体的に振るわず、前年割れとなっている。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・6月前半から気温が上がらず、飲料類や暑さ対応商材がほとんど出ず、温かい商材が出るかというところでもない。来客数も若干少なく、あまり良くない。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・8月末に主力車種のモデルチェンジがあるため、買い控えが始めている。

	乗用車販売店 (管理担当)	販売量の動き	・春闘の結果、ベースアップはあまりない。生活必需品である食料品などの消費は横ばいで、自動車販売台数も横ばいである。
	住関連専門店 (経営者)	お客様の様子	・消費を動かすマインドが警戒感を払拭できないでいるように思う。酒類の値上げ報道の前から、原材料費の値上げによる商品価格の上昇もあり、消費者の財布のひもはより固くなってきている。繁華街の飲食店の様子を見ても、活気がある店はごく一部である。
	その他小売 [ショッピング センター](統 括)	来客数の動き	・前年同期と比べて来客数減少の流れである。依然として物販、特にアパレル雑貨の不調が大きい。映画のヒット作にも恵まれず、飲食店も苦戦を強いられている。
	スナック(経営 者)	来客数の動き	・来客数の動きを選んだが、競争相手の様子も同じような気がする。予約の客がまず少なくなり、それ以外、道路を見ても人が歩いていないし、とにかく本当に良くない状態である。
	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・客単価の低下や近隣企業の合併に伴う宴会需要の減少、婚礼需要の減少により、やや悪くなっている。
	都市型ホテル (営業担当)	販売量の動き	・ビジネスホテルを3棟運営しているが、3か月前に比べれば、全体的に稼働がやや落ちている。3か月前は、年度末、年度初めでいろいろな動き、需要があったが、最近はビジネス利用、観光、レジャー利用共に、あまり稼働は高くない。レジャー、観光については、天候の影響もあるように見受けられる。
	都市型ホテル (営業)	販売量の動き	・前月とほぼ同じ売上だが、3か月前と比べると宴会、宿泊共にやや落ち込んでいる。
	タクシー(役 員)	それ以外	・ドライバーの確保が出来ない。
	通信会社(総務 担当)	販売量の動き	・新商品のラインナップは出そろったものの、販売数の増加にはつながっていない。新料金プランは対象者、機種共に限定があるため、客の関心の高さの割に動いていない。
	通信会社(局 長)	それ以外	・シャッター街が増えているので、やや悪くなっている。
	ゴルフ場(経営 者)	来客数の動き	・スポーツ産業であることから、団塊の世代が高齢化による体力低下などで少しずつ購買意欲が落ちて来ているのを実感している。人口減少と供給過剰の状態に対する決定的な対応策を覚悟する時期が迫っている。
	設計事務所(所 長)	来客数の動き	・今月は契約確実物件が遅れていまだに契約できていない。他の情報も少ない。
	x 商店街(代表 者)	お客様の様子	・必要な物以外の買物をしない客が定着している。最近では、その客すら来店が少なくなってきた。
	x 家電量販店(店 長)	販売量の動き	・ボーナス商戦よりも、天候の影響で売上が左右される月である。前年はエアコンや冷蔵庫などが好調であったため、今月は前年比78%で着地となる。エアコンは69%、冷蔵庫が90%と振るわない。
企業 動向 関連 (北関東)	金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・現在非常に繁忙で、7~8月も忙しいと親会社から連絡を受けている。
	その他製造業 [環境機器] (経営者)	受注量や販売量 の動き	・当社事業の3本柱のうち、2本目、3本目は、開発から製造、直接レンタル、リースという、ビジネスモデルが出来上がってきている。
	化学工業(経営 者)	受注価格や販売 価格の動き	・受注、出荷量共に季節要因を差し引いても好調に推移している。この状態を少しでも長く維持したい。
	一般機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・新たな取引先からの引き合いが確実に増えており、新規受注に至る確度も高くなっている。既存取引先からの受注も底堅く推移してきている。
	電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・3月の時点では売上也落ちてどうにもならず、これはおかしくなると思っていたところ、5月、6月と徐々に上がってきて、7月はさらに上昇の予定である。約1割ずつ上昇しており、驚いている。その一方、同業者で仕事がありません悲慘な状況の会社もある。
	建設業(開発担 当)	受注量や販売量 の動き	・公共工事が中心で売上の95%を占めている。今年度公共工事は前年比35%増の発注で大変有難い。当社受注も前年比10%増の良いスタートとなっている。ただし、前期が厳しかった影響で、今期はまだ厳しい。
	金融業(調査担 当)	受注量や販売量 の動き	・製造業がけん引して、景気は上向いている。当県の鉱工業生産指数は増加基調にあり、企業の景況感も改善している。非製造業の景況感は業種による違いはあるものの、底堅さがみられる。

	経営コンサルタント	取引先の様子	・6月は梅雨に入っても雨の少ない好天が続く、夏物家電のエアコン、扇風機など、インターネット通販向けの物量が増えたものの、全体的には前年並みの輸送量である。商業施設や行楽地には、ある程度の人出があり、消費支出がある。企業の能力増強や生産性向上のための設備投資や販促関係の消費支出もそこそこある。雇用面は相変わらずひっ迫している。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注、販売共に、非常に厳しい状態が続いている。
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・変化はみられない。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・厳しかったカメラ業界も安定して良好になってきている。当社も仕事は確保しているものの、変化が激しく、厳しい状態が続いている。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車の輸出量の伸び率は一段落した感がある。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先の様子や受注、販売価格の動き等は、取引先が複数あるので良い状況のところもあれば、やや良い、どちらとも言えない会社もあり、いろいろなので、あまり変わらない。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・展示会が多い月である。どの展示会も来場者は限定的であったものの、購買単価も前年より10%高い。ただし、卸のルート販売は引き続き厳しく、前年割れである。
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・特に変化はなく、工事も閑散期で例年と変わらない。
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・6月は梅雨に入っても雨が少なく、天候の良い日が続く、夏物家電のエアコン、扇風機などインターネット通販向けの物量は増えたが、全体的には前年並みの輸送量となっている。
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・例年に比べて空梅雨で、観光業にとってはプラスである。外国人旅行者もアジア、欧米系共に横ばいで推移している。観光ニーズは高いものの、小売関係は厳しい状況が続いている。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・比較的天候に恵まれていた割に、今月のチラシ出稿量は前年比88.8%である。特に大手衣料品店の出稿が減っているものの、これといって悪い業種は見当たらず、この数字は総体的に減少している結果である。
	司法書士	受注量や販売量の動き	・事務所に来る人が少し増えている。
	社会保険労務士	取引先の様子	・地方の内需型中小製造業は厳しい状況が続いている。賃上げはないものの、残業代で従業員の手取りは増えている。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先のIT投資意欲が旺盛で、システムの納入件数が増加し、収益が改善している。
	食料品製造業（営業統括）	受注価格や販売価格の動き	・諸物価の高騰や人件費の影響もあり、低コストワインの伸びはあるものの、利益率は低下している。
	食料品製造業（製造担当）	競争相手の様子	・業界全体で消費が落ち込んでいる。製造ラインの休日を増やすかどうかと言うほど、良くない。
	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・今月予定していた受託業務が延期、中止となったものがいくつかある。その代わりになるような単発業務もなかったため、売上が減少している。
	広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・自動車、住宅、他物販などの売上は良くないようで、販促費の使い方も慎重になっている。消費に対する不安感を持っている状況である。
	x	*	*
		-	-
雇用 関連 (北関東)	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・野菜、生鮮食料品などの量や品質も、大分良くなってきて、店頭に並んでいる量も増えている。住宅に関しては、天候の影響もあり、若干遅れているようだが、工事は着々と進んでいる。衣料品は、お中元時期と重なり品質、品ぞろえが充実している。人材募集の傾向は、電機や鉄、非鉄等の製造業が、人手不足なのか求人が活発である。
	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・今のところ仕事が忙しく、求人数もたくさんあるものの、人はなかなか集まらない。
	人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・大手メーカーへの製造派遣求人が増えている。

	人材派遣会社 (支社長)	採用者数の動き	・前年同期と比べて、採用人数は1.9倍と非常に高い。人手不足感がまん延しているせいか、採用意欲は衰えることなく、1人当たりを示されるオーダー数が例年より多い。求職者が希望職種に迷い、辞退するケースも多くなり、採用数全体は上昇しているが、顔合わせ等の回数も2倍以上となっている。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・大きく動いているわけではないが、毎月、半導体関連の製造業からの新規求人数が前年同月を上回っている。
	人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・相変わらず人材が足りないが、企業側も支払を変えるつもりがないため、マッチングが難しい。
	求人情報誌製作 会社(経営者)	周辺企業の様子	・業種によっては依然として人手不足が続いており、企業、商店は求人募集を随時行っている。応募者があまりいないため、仕方なく何とか少ない従業員でやりくりをしている。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・求人の動きも前年と変わらず横ばいである。求職者の減少傾向が続いている。
	民間職業紹介機 関(経営者)	求人数の動き	・正社員求人増加がみられない。
	学校[専門学 校](副校長)	求職者数の動き	・県の調査でも有効求人倍率は高くなっているが、専門学校生の就職先としての業種、職種は限られている。
	-	-	-
x	*	*	*